

交 流 Vo1. 33



滋賀県留学生交流推進会議

目次

1. 留学生の声	2
ビエンナーレでつくる	2
百見は一触に如かず	4
うつくしい日本	5
侘寂	6
滋賀の素敵な思い出	7
タイのジェスチャーとタイの常識	8
日本の留学生活	9
日本に来て3か月	10
留学を通して知った滋賀県の魅力	11
私の二回目の大学生活	12
2. 交流事業の紹介	13
立命館大学	13
独立行政法人日本学生支援機構 近畿支部	14
滋賀文教短期大学	15
滋賀県立大学	16
龍谷大学	17
2018年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧	18
3. 県内大学、短期大学の留学生受入状況（平成30年5月1日）	21
(1) 留学生数の推移	21
(2) 在籍身分別留学生数	21
(3) 出身国（地域）別留学生数	22

※本誌記事における留学生の情報（所属機関・学年等）は2018年度時点のものです。

ビエンナーレでつくる

滋賀県立大学
環境科学部 環境建築デザイン学科 2 回生

VINCENT SEBASTIAN (ヴィンセント セバスチャン)さん

2018年、夏休み。大学生の自分にとっては、人生の中に片手で数えられるような時期。夏休みは、骨が折れるような設計課題に追われず、自分がやりたいことをやって経験を積む時期でもあります。

そんなある時、建築学生の私は、ワークショップに誘われました。どうも、そのプロジェクト担当の一人、アントニオさんが日本語を話せないので、通訳がほしいと誘われ、参加することになったのです。

このプロジェクトは、アントニオさん、永井拓生教授、そしてデザインの担当になった大学院生の大野宏さんの共同プロジェクトでした。今夏に近江八幡市で

開催される琵琶湖ビエンナーレという国際美術祭で、展示作品としてヨシを使ってドームをつくるのです。



計画としては、ボール形にしたフレームに沿ってヨシを束にしたものを積んで、結んでいくという作業でした。もちろん、そんな簡単に行かないのは、ものづくりというものです。私自身は途中参加でしたが、すぐ問題が起きました；「やばいのだ」とにかくやばい 台風が来た。」というものでした。

作業時間も人手も限られた中、翌日に様子を見て、幸い作品にダメージがなかったことを知って皆で胸をなでおろしました。

このプロジェクトに参加して、作業方法、問題に直面した時チームとして楽しく進む方法、そして言葉の架け橋役を担うことなど初めて経験したものが多くありました。

建築は、一人の建築家がすごいものをデザインして、脚光を浴びるというイメージがあったけれども、やはり、泥で汚れて手を動かす人がいないと実現できません。ここで、「ものづくり」というものの深さを再び、自分の肌で感じました。

20日間の期間中、9日間しか参加できなかったけれども、焦りながらもみんなで頑張ってきました。苦労した後、最後のピースをはめて完成、の時はやっぱりワクワクしますね！

とにかく、無事に完成してお疲れ様でした！乾杯！



百見は一触に如かず

聖泉大学
人間学部人間心理学科 4 回生

昌 倩(ショウ セイ)さん

美術鑑賞は人に深い喜びと慰めを与えます。しかし、美術鑑賞は目で見ることしかできないのでしょうか。昨年 12 月、知り合いの高校美術の先生の彫刻作品が「日展 京都巡回展」に入選されました。私は先生のご厚意で、ボランティアとして会場にいる機会を得ました。「手で触れる日展鑑賞会」という視覚障害者のための特別な鑑賞会で、彫刻作品を触ることができます。私は手で触れるという鑑賞方法は初めて聞きました。普通、芸術作品には触れてはいけないというのが常識なのに、この鑑賞会では自由に触れていいので非常に興味深かったです。

この日展鑑賞会では誰でも作品に触れ、自分のイメージを膨らませて想像することができます。視覚障害者の方は近くにいた作家の解説を聞きながら、指で彫刻の輪郭をたどって作品を楽しんでいました。好奇心にかられて私も手で作品に触ってみました。確かに、手で触ると彫刻作品から感じられるものが違います。凸凹な表面を指でたどっていてゆっくり触り、作品の形、温度や手触りを味わって想像して心が洗われました。材質の硬さ、冷たい感触、これは見るだけでは伝わらないことです。美術というものは視覚と切り離せないものだと思っています。しかし視覚障害者の方々は、視覚に頼らず触覚だけで、作品を心のままに自由に感じられます。

私は今回の経験を通して、やってみなければわからないことがたくさんあると思いました。「百見は一触に如かず」ということわざの意味をやっと理解できました。百回見るよりも一度触った方がいい、まさにこの通りです。



黒のタートルセーターを着て、青のネクストラップをかけているのが昌倩（ショウセイ）さん。



うつくしい日本



長浜バイオ大学
バイオサイエンス学部
バイオサイエンス学科 1 年次生

崔 校銘 (サイ コウメイ)さん

時間は早いもので、日本に来てもう 2 年になりました。

4 年前、家族旅行で初めて日本に来ました。その時、日本人の優しさや環境に対する態度に感心しました。2 年後来日、そして今、私は日本が好きになっています。理由は二つです。

一つ目は、日本人です。日本人は重要・些細にかかわらず真面目にすると感じています。長い行列になっても乱れることなく秩序を保ったり、お客様に対して乱暴ではなく礼儀正しい対応をしたりすることなどをいろいろな場面で見してきました。日本人にとってはごく普通なことですが、私の国では未だ「我れ先に動く」のが普通です。日本人は根底から「人に迷惑をかけるな」という小さい頃から教えられた躾が心に刻まれていると考えています。

逆に、人に迷惑をかけたら大変な事になります。アルバイトの時、私のミスでお客様にクレームをつけられ、いつも優しい上司にひどく怒られたことがありました。迷惑をかけることを防ぐため、いつも「空気を読むこと」に注意を向けているのはすごいと思います。

二つ目は、人と自然の共存です。日本の面積は約 37 万 8,000 平方 k m、約中国の 25 分の 1 ですが、林野庁によると、狭い日本の約 67% の 25 万平方 k m の面積が森林です。自然が広がっているのです。休日、遠出して様々な風景を見たり多くの人と出会ったりする中で一番好きなのは、その自然に触れることです。去年富士山に登った時、世界遺産で登山する人が多いのに「なぜ山頂までのロープウェイとかの施設がないの？収入にもなるのに」と友達に言いました。その後資料を見たら、やはり環境保全のためでした。富士山だけではなく、たくさんの景勝地は自然保護のために原始のまま残っています。私の実家の隣にきれいな山がありましたが、近年経済の発展のため開発が進んで生態のバランスを崩してしまいました。

人と自然、私はこのうつくしい日本で異文化にたくさん触れながら勉強に日々励むという留学生生活をこれからも続けていきます。

侘 寂



成安造形大学
芸術学部芸術学科メディアデザイン領域
写真コース 4年

芦 宏濤（ロ コウトウ）さん

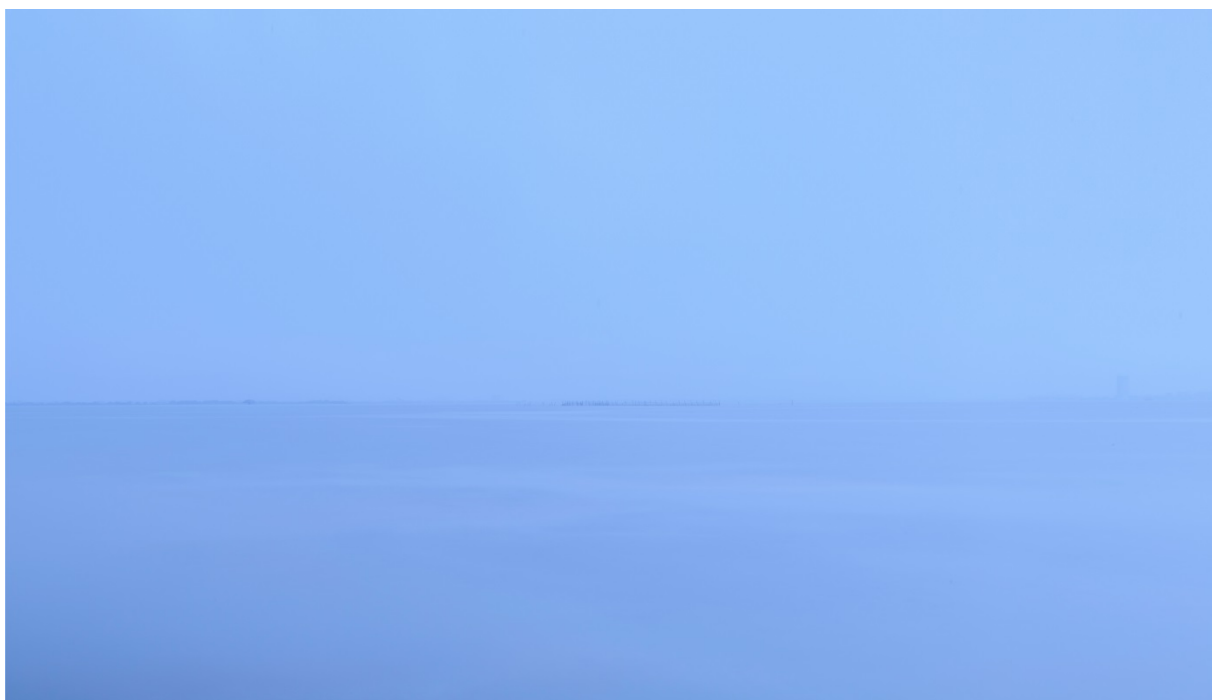
僕は侘寂というライフスタイルが気になったのをきっかけに 2016 年 3 月、滋賀県の成安造形大学に三年次編入生として入学しました。そろそろ 2 年になりますので、時間が経つのが早いと感じます。

僕の中では、侘寂とはシンプルなライフスタイルのことであると解釈しており、世俗的な物事から離れて関与せず、侘寂の中で、人々が自然に戻って、自然をライフスタイルに取り入れることができれば本当の自分を発見することができるのではないだろうかと考えています。その考え方をずっと持って、学校の近くにある琵琶湖という湖を主題に作品を作っています。

古代中国から存在している東方芸術では、万物は「青、赤、白、黄、黒」の五色からなるとされ、「白」はその五色の中の始まりとされており、重要な地位にあります。また、原研哉は『白』という著書の中で、「白という感受性を探ることによって、僕らは普通の白よりももう少し白い白に意識を通わせることができるようになる」と述べており、「白」というものは多様な解釈をすることができると思います。

東方芸術の美学基礎にある「白」の概念の 1 つに「空白」も存在しています。「空」は余分な所を消し、物質を本来姿に返し、無限の可能性を伝えていると思います。琵琶湖の水平線を中心に、2 年間ずっと、琵琶湖の作品を作っていて、自分なりに侘寂のライフスタイルを作品を通じて伝えてきたことは、人生にとって、本当に意味があることだと思います。

最終的には、この 2 年間大学で学んだ理論的な知識を生かして、未来についての自分なりの生活美学を探求し、侘寂という生活様式を多くの人に伝える努力をしたいと考えています。



滋賀の素敵な思い出

立命館大学大学院

情報理工学研究科 博士課程後期課程 1回生

Kovacs Mate (コバーチ マーテー)さん

3年前ぐらいから滋賀に留学している私は、楽しい思い出と一緒に作ってくれる友達に感謝。この3年を振り返ると素敵な思い出がいっぱい思い浮かぶが、一番余韻が残った一日は2017年の夏の日だった。「天気がいいからちょっとハイキングして軽く汗を流そう」って感じで湖西線で友達と大津京に行った。京阪に乗り換えて滋賀里で降り緩やかな坂を登って志賀の大仏（しがのおぼとけ）を見に行った。峠の道の安全を守る道祖神としても知られているが、鎌倉時代作の石像を見つめる私達が「シガはなぜ別表記やろ」と考えていた。もうちょっと登ったら大津が都になった翌年に建立された崇福寺（すうふくじ）の跡があった。静かな緑の中にある史跡には、昔の時代の空気が漂っていた。山を降りて、近くにある近江神宮も見に行った。境内に百人一首の札がいっぱい飾られているし、僅か5年ぐらい都になった近江大津宮普の歴史が刻まれている所だから普段とはちょっと違う雰囲気神社でした。日没がまだなので次はおにぎりを食べながら堅田にある真野浜水泳場に行った。夏の琵琶湖なのに水着を持ってなかったことはちょっと勿体ないと思ったが、琵琶湖を眺めながら気楽に話し合ってすごく楽しい時間を過ごせた。もう二人ともかなり腹減ったから帰りの電車から大津で降りて琵琶湖のすぐ近くにある居酒屋で大好きな松の司の日本酒を呑みながら美味しいものいっぱい食べた。

この楽しい思い出を感想文の形で蘇らせて、私はとても嬉しく思う。



タイのジェスチャーとタイの常識

滋賀文教短期大学
国文学科 留学生コース 1年生

トライカーンマンマティ ピンニパー(ジェーン)さん

まず、タイのジェスチャーについてお話します。タイではあいさつするとき、むねのところで手を合わせます。合わせた手を上げます。ともだちには合わせた手の人差し指は鼻の位置、年上の人には合わせた手の親指は鼻の位置、合わせた手の人差し指はまゆげの間の位置、そうりょの人には合わせた手の親指はまゆげの間の位置において、頭を下げます。「わたし」と言うとき、手を自分のむねにあてたり、むねか顔に人差し指で指したりします。「話すな！」と言うとき、口の前に人差し指を立てて、「シーッ」と言ったり、舌を「チュ」とならしたりします。

その後、タイの常識についてお話します。タイではかぜをひいたとき、あついタオルで体をふきます。シャワーを浴びたり、お風呂に入ったりしません。病院へ行って入院することが多いです。ドリアンとお酒ドリアンと辛い食べ物食べたり飲んだりすると体は熱くなると言われています。かにとアイス食べたり飲んだりすると体は冷たくなると簡単な下痢になると言われています。これは医学的に正しいです。女の人の生理のときは、ココナツジュースを飲みません。飲むと生理の血が多くなると言われています。これは昔から言われている常識です。医学的にその常識が正しいかどうか、分かりません。女性は全員信じています。

ここに書かれている物語は私の国の文化についてみんなと共有したいという物語です。皆さんがこの物語から知識と楽しさを得られることを願っています。ありがとうございます。

日本の留學生活

びわこ成蹊スポーツ大学

麥 芳綺 さん

高校2年の時に、日本に来たことがあります。あの時は、台湾と日本のサッカー交流のために静岡県で試合をしました。その時は12月でとても寒かったです。台湾と日本の温度差は20度くらいありますが、サッカーをしている日本人が多くてとても驚きました。日本の運動人口も運動場所も台湾より多いので、日本に住んでみたいと考え始めました。私が台東大学に入学した後、台東大学とびわこ成蹊スポーツ大学が国際交流の協定を結んでいることを知り、それを利用して今はびわこ成蹊スポーツ大学の野外スポーツコースで勉強しています。

びわこ成蹊スポーツ大学の野外スポーツコースでは野外スポーツに関する指導法やマネジメント、雪上運動などの講義があり、実践の授業が多いです。実際に指導案を作って、学生同士で教えてあったりしています。中でも私の一番好きな講義は指導法です。なぜなら子どもが好きで、子どもに野外の活動を指導している時が一番楽しいです。もっと子どもたちに教えたいと思っています。私の今の目標は小学校の教師になることです。そして、野外スポーツを通して子どもたちにもっと楽しい授業をしたいです。



日本に来て一番難しいことは日本語を聴くことです。最初の頃は授業中、先生の話しが理解できませんでした。喋るスピードや関西弁に慣れませんでした。大学のクラブ活動（サッカー部）に参加することで友達が多くなりました。日本語を喋る時間も多くなって、日本語能力も徐々に上達していきました。

現在、日本での留學生活2年目です。これからも今まで以上に大学での講義やクラブ活動等、頑張ります。

日本に来て3か月

びわこ学院大学短期大学部
ライフデザイン学科キャリアデザインコース2年

劉 琬溢(リュウ ワンイ)さん

冬休みが終わり、いよいよ大学の授業が始まりました。この冬休みが日本の正月を含んでいましたので、私は楽しく過ごしました。1月1日から1月3日まで、日本のお正月の三が日ということです。外国で新年を祝うのは初めてで新鮮でした。去年の12月31日の夜、紅白歌合戦を見ました。とてもいい番組でした。そして、アニメを見続け、遅くまで起きていました。本来、日本の正月の三が日の間、私は京都へ遊びに行くつもりでしたが、天気がとても寒かったです。行っても楽しみがないと思ってやめました。1月3日は三が日の最後の日、私は今宿先生と奥様と一緒に太郎坊宮へ初詣に行きました。当日は雨が降っていましたが、神社の中には大勢の人がいました。

初詣は日本人にとって欠かせないものだと思います。お寺あるいは神社にお参りして向こう一年間の健康と幸福をお願いします。また、日本の年末には年賀状を書いて送り、新年の1月1日に届けます。書き手は読み手にすばらしいお祝いの気持ちを伝えます。

今は2019年の1月の中旬になります。日本にいる生活は本当に早く過ぎます。私は今、日本の生活にだいぶ慣れました。日本語を勉強するのは大切です。日本語が上手になることを目指して一生懸命頑張ります。

今月末には期末試験を迎えます。私は試験に対して恐怖心を持っています。けれども期末試験の最終日の翌日、私の家族4人が日本に来ます。中国の春節休みを利用して、日本へ旅行に来ます。もうしばらくですが、とても楽しみにしています。

留学を通して知った滋賀県の魅力

滋賀大学教育学部

ジャクリン・ブラガンザ(交換留学生)さん

日本に来たばかりの頃は一日中授業で日本語ばかり聞いていて頭が追いつきませんでした。聞き取れるように集中することで精一杯で、本当に疲れました！でも、今は普通の学部生用の授業も受けて、少し日本語が上達したかなと思います。日本に来る前には言いたい言葉が出てこないことが心配だったのです。でも、そんな心配はどんどんなくなりました。上手く話せなくても、優しく聞いてくれる皆さんがいたから安心出来ました。教育学部生だったからなのか、出会った皆さんは本当に温かかったです。

実は、私の大学では「部活」やサークルはあまりないですし、サークルに参加している人は少ないです。だから、滋賀大学で国際交流を中心とした CIS と英語サークルの SULEE に入って、仲間が増えて嬉しかったです。皆さんと話せて、ちょっとだけ自信が湧いてきました。



この留学は私に外国人にあまり知られていない所に行く機会をくれました。滋賀に来る前には、正直県名とひこにゃんしか分かりませんでした。今は観光客が少ないのがもったいないと思っています。この写真はオーストラリアの友達と近江神宮に行った時のものです。初めて着物を着ました！そしてかるたの聖地なので袴も履きました！実は私も友達も「ちはやふる」が好きで、その日が忘れられない日になったと思います。建部大社、石山寺、三井寺、延暦寺などにも行きました。滋賀へ来て近くにたくさんのお寺や神社があると知ってビックリしました。あらゆる所に日本の歴史を感じられます。滋賀県の特権だと、私は思います。しかし、残念ながら日本人の友達と話す時、滋賀県に何もないと言われます。私はそんな風に思いませんし、滋賀を大好きになりました！

これからオーストラリアに戻った時、日本語のスキルを保てるかどうか不安ですが頑張って参りたいと思います。ここでしか味わえない生活が出来ました。留学したところが滋賀で良かったです！

私の二回目の大学生活

龍谷大学
社会学部コミュニティマネジメント学科1回生

王 芸童(ワン イートン)さん

私の学部時代は中国の大学でアナウンスを専攻してその理論と実践について勉強してきた。そのなかで、メディア論を中心に、放送論、広告論などの一般的な概論のほかに、アナウンサーの実践的な練習活動にも参加した。中国の大学で勉強しているとき、日本のニュースを見る機会があった。当時中国のニュース番組は情報を一方的に伝えるだけであったのに対し、日本のニュース番組は視聴者のニーズをよく考え、それに応えようとしている姿勢に驚いた。そして、大学を卒業後、私は地元のテレビ局でアナウンサーとして就職した。仕事をしているうちに、中国の放送業界は発信側及び受信側のあり方に対する認識が不足しているところと、メディア業界がステレオタイプ化していることを痛感し、それに自分自身の実践的な経験が不十分であることにも気づいた。

実は私は進学する時迷っていた。学院か、大学か、就職か、なかなか決められませんでした。その時、日本へ来たばかり頃の初心に立ち返って、じっくりと考えてみた。そうすると、大学に進学したい自分にもう一度気づくことができた。この受験を通して、自分が本当にしたいことは一体なにか、それを知ることの大切さを学んだ。進学する時は自分の年齢や大学のレベルなどで不安や心配がありますが、そういったものを一切かなぐり捨てて、自分の心に従って目標を立てることが一番重要だ。

龍谷大学に入って以来、以前の心配は全部消えた。この一年間の中にはたくさんの先生から応援を受けて、京都新聞の記者と会見とか、京都新聞滋賀本社で自習とか、実際に日本のメディアに触れて、今まで習った専門知識を生かし、より視野を広げ、自分の考えことに役に立つ。はじめて自分の自習することを京都新聞に載せるとき、自分の苦労したことを報うと思っている。また、後3年間の勉強を通じて、必要な能力を身につけて、自分が模索しているメディアの形を見つけると信じる。



交流事業の紹介

立命館大学

- 交流事業名：滋賀県留学生交流推進会議 平成 30 年度留学生懇談会
和食調理体験～恵方巻づくり体験
- 開催時期：2019 年 1 月 29 日（火）11:00～13:30
- 開催場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス内
- 参加者：滋賀大学 4 名、滋賀県立大学 5 名、立命館大学 23 名（計 32 名、15 カ国）
- 共 催：滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合、（公財）滋賀県生活衛生営業指導センター
- 内 容：「節分の日本食文化」調理実習

2019 年 1 月 29 日、びわこ・くさつキャンパスにて、留学生を対象とした日本の食文化～節分に食べる「恵方巻」の由来・食べ方の習慣にかかるお話と古くから伝わる食習慣や食にまつわる文化に触れる交流イベント開催されました。本イベントは、滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合をはじめとする団体の協力のもと実施され、本学を含む滋賀県内 3 大学から 15 ケ国の留学生 32 名が参加しました。参加した留学生は、プロの料理人の調理に驚きながらも、自らも恵方巻きづくりに挑戦しました。



独立行政法人日本学生支援機構 近畿支部

- 交流事業名：第5回兵庫国際交流会館国際塾
- 開催日時：平成30年10月27日（土曜日）11時00分～13時30分
- 開催場所：兵庫国際交流会館 3階多目的ホール
- 対象者・参加者：兵庫国際交流会館入居者及び一般
- 内容：

兵庫国際交流会館に入居する各国・地域からの外国人留学生や近隣の方々、大学関係者等を対象に、日本の様々な分野で活躍する有識者や専門家等を講師として招き、その貴重な知識や意見を聞くとともに、併せて、意見を交換する機会を設けることにより、留学先である我が国の様々な面への理解をより深める機会を提供することを目的に実施しました。

第5回テーマ：「能楽体験教室」



交流事業の紹介

滋賀文教短期大学

- 交流事業名：留学生スキー、スノーボード体験
- 開催日時：平成 31 年 1 月 12 日（土）7：20～19：00
- 開催場所：奥伊吹スキー場
- 対象者・参加者：留学生（タイ王国）、日本人学生（有志）
- 内容：

本学はタイ王国より長年にわたって留学生を受け入れてきました。タイ王国の風土等の関係上、中々体験することの出来ない「雪」を体験してもらうため、留学生スキー、スノーボード体験を企画しています。大学の立地上身近にスキー場まで行く事が出来るので、その特性も生かし、本学留学生支援室の担当者が引率をして、スキーやスノーボードという雪に関連したウィンタースポーツを通じ、有志で参加した本学学生と交流を図り、普段の大学生活や授業等での交流とは違った形での交流を図ることが出来、留学生、本学学生共に、非常に有意義な交流活動となっています。



交流事業の紹介

滋賀県立大学

- 交流事業名：留学生社会見学バス旅行（伊勢神宮等）
- 開催日時：平成 30 年 10 月 6 日（土）
- 開催場所：三重県 伊勢神宮
- 対象者・参加者：本学外国人留学生、一般学生
- 内容：

日本の歴史、神道の由来を学ぶとともに、地元の蒲鉾づくり体験と塗り箸づくり体験を通じて、日本のものづくりの理解を深めました。

また、留学生と一般学生がともに学び、ともにものづくりを体験することで、互いの異文化理解を深めました。



交流事業の紹介

龍谷大学

- 交流事業名：English Evening (イングリッシュ・イブニング)
- 開催日時：2018年5月10日、5月24日、6月7日、6月21日、7月5日、7月19日、10月23日、10月25日、11月8日、11月22日、12月6日、12月13日、1月10日、1月17日
- 15:45～17:45
- 開催場所：龍谷大学瀬田キャンパス 智光館2階グローバルcommons
- 対象者・参加者：交換留学生、瀬田キャンパスの日本人学生
- 内容：

龍谷大学瀬田キャンパスでは、グローバル教育推進センターに隣接したエリアを中心として、様々な国の留学生と日本人学生が集うグローバルcommonsと呼ばれるマルチカルチャー、マルチリンガルな学びの空間を提供しています。

このスペースを活用し、瀬田キャンパスの学生に多くの国際交流の機会を与えることを目的に、国際交流イベント「English Evening」を開催しました。

このイベントは、交換留学生と日本人等学生が交流し、英会話を楽しむというもので、今回は、オーストラリア、ポルトガル、ドイツ、ロシア、ポーランド、アメリカ、フィンランド、スペイン、アイルランド、カナダ出身の交換留学生14名が協力。前期に6回、後期に8回開催し、のべ73名ほどの日本人等学生が参加してくれました。

瀬田キャンパスの日本人学生の参加者はとても熱心な学生が多く、英会話を楽しむリピーターも多くいます。また、これをきっかけに海外留学にチャレンジする学生や、留学後に英語力を維持したいという学生も参加しています。

会話を通じ、留学生と日本人学生が、各々の国の状況や文化の違いや考え方の違いなどを語り合うことで、異文化に対する理解を深める機会ともなっています。English Eveningは今後も継続していく予定です。



交流事業の紹介

2018年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 1/3

日時	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
2018年6月28日～7月13日	滋賀県教育委員会	滋賀県高校生海外相互派遣事業	各高等学校	ミンガン州の高校生15名 引率者2名	知事表敬訪問、比叡山永源寺見学、琵琶湖博物館見学、各高等学校での研修(授業、学校行事等の参加)、ホームステイ
2018年6月15日	滋賀経済産業協会	近畿ブロック就職支援フェスタ	大阪府立体育館	1102名	外国人留学生対象の合同企業説明会、当協会としては、会員企業への参加呼びかけを行い、滋賀企業6社に参加していただきました。
2018年6月2日	大津国際親善協会	留学生と交流しよう！草木染め体験	逢坂公民館	一般、留学生	留学生や外国の方に日本の文化を紹介する。全国でも珍しい草木染めの組紐を作り続けている「藤三郎組」の4代目より、天然の染料を使った「絞り染め」を学び、世界で1枚だけのオリジナル手ぬぐいをつくった。また、留学生と日本人の参加者が交流する機会を提供した。
2018年6月30日	大津国際親善協会	留学生 ホームビジット	大津市国際親善協会⇔ホストファミリー宅	留学生 当協会ボランティア	大津市近隣大学の留学生が当協会ボランティアのホームビジットボランティア宅に留学生それぞれが訪問し、日本の家庭生活を体験する。また、市民レベルでの国際交流を行う。
2018年10月21日	大津国際親善協会	留学生と環境学習船megumiで巡るびわ湖体感ツアー	大津港⇒琵琶湖博物館⇒沖島⇒白髭神社⇒大津港	一般、在住外国人 留学生	(公財)中島記念国際交流財団助成事業 (独行)日本学生支援機構実施事業 ・船を利用して移動 地域住民と留学生とともに歴史的、文化的に興味深い場所を巡る。留学生にとって、湖上体験、日本唯一の淡水湖の有人島「沖島」での体験等、この事業に参加することによって、滋賀、琵琶湖を知る機会になると思われる。 ・また、様々な年代の地域住民とともに行動することも、コミュニティの場の提供、異文化交流になると思われる。「琵琶湖」は日本一の湖である。留学生はそれぞれの母国に帰った際、滋賀「琵琶湖」のすばらしさ等、日本での体験を広めてくれることを、目的とする。※申込:留学生(立命館大学、滋賀県立大学、京都大学)
2018年11月10日	大津国際親善協会	2018国際ふれあいフェスタin OTSU	明日都浜大津 ガス燈広場	一般・在住外国人 留学生	異文化の相互理解と市民レベルでの交流 ・いろいろな国のステージ(インド舞踊、マリネラ、合唱団等) ・世界の軽食(インド料理、世界のパン等) ・留学生によるお餅つきの体験 等々 ※留学生(龍谷大学、立命館大学、京都大学)がボランティアで参加
週1回	大津国際親善協会	在住外国人等のための日本語教室	大津市国際親善協会、瀬田公民館、瀬田東公民館、堅田公民館	留学生、在住外国人	在住外国人、留学生等に日本語を学習する機会を設け、日本語を通じてコミュニケーション能力を向上させ、地域社会の振興に寄与するきっかけを作る。
月1回(第2水曜日)	大津国際親善協会	外国人無料個別相談室	大津市国際親善協会	在住外国人、留学生、一般(但し外国人に関わることに限る)	外国人が安心して日常生活を送るために、入管、在留資格、VISA、国際結婚、起業等に関する相談を行政書士が受付、問題に対してアドバイスをする。
通年	大津国際親善協会	留学生大津探訪バスポートの発行	大津市国際親善協会にてバスポート発行	留学生、在住外国人	国際交流及び勉強を目的として来日されている外国人留学生に、大津を広く紹介し、国際交流や友好関係を深めるきっかけ作りとなるよう提供する。 ・バスポート対象 浮御堂、西教寺、延暦寺、日吉大社、園城寺(三井寺)、石山寺、岩間寺、近江神宮、建部大社、立木観音、旧竹林院、大津市歴史博物館、大津市曳山展示館
通年	大津国際親善協会	大津ガイドクラブ	大津市内社寺	留学生	留学生や外国人に大津市内の社寺、観光地、その地に関わる文化などを英語で紹介し、留学生に大津の魅力を広める。 ・春の園城寺(三井寺) ・坂本、日吉大社 ・大津祭 ・石山寺 等 ※留学生(立命館大学、)が多数参加
2018年9月3日	大津国際親善協会	大津ガイドクラブ	大津市ふれあいプラザ	留学生、一般	国際交流及び勉強を目的として来日されている外国人留学生が、一般の方に母国(自国)の紹介をする。 ・ウズベキスタンの文化や習慣の違い等 ・国際交流の場になるよう開催する。 ※発表者:立命館大学留学生(ウズベキスタン出身)
2019年2月6日	滋賀医科大学	見学バス旅行	滋賀県立琵琶湖博物館他	外国人留学生及び外国人客員研究員	本学の外国人留学生等を対象とする学外研修。日本の文化・歴史・自然等を学び、留学生同士の相互理解や教職員との交流を深めることを目的とする。
2018年9月22日	長浜バイオ大学	国際交流イベント	神明キャンプ場(米原市宇賀野)	本学在籍の学生	例年「国際交流イベント」として日帰りバス旅行を行ってきたが、近年は留学生から「日本人学生と共同で作成したり飲食したりしたい」との声が多くあり、今年度は大学近くにある琵琶湖岸のキャンプ場でバーベキューを行った。 留学生、日本人学生、教職員が30名程度参加して行われ、秋の風を感じながら学生達が交流を図った。
2018年12月8日	長浜バイオ大学	YOU 弁 in NAGAHAMA	国際交流会館GEO	本学留学生	長浜市民国際交流協会が毎年開催しているスピーチ大会で2018年は30周年の記念大会であった。本学からは2名の留学生がスピーチした。
計14回	龍谷大学	English Evening (イングリッシュ・イブニング)	龍谷大学瀬田キャンパス	交換留学生、瀬田キャンパスの日本人学生	龍谷大学瀬田キャンパスでは、グローバル教育推進センターに隣接したエリアを中心として、様々な国の留学生と日本人学生が集うグローバルコンモンズと呼ばれるマルチカルチャー、マルチリンガルな学びの空間を提供しています。 このスペースを活用し、瀬田キャンパスの学生に多くの国際交流の機会を与えることを目的に、国際交流イベント「English Evening」を開催しました。 このイベントは、交換留学生と日本人等学生が交流し、英会話を楽しむというもの、今回は、オーストラリア、ポルトガル、ドイツ、ロシア、ポーランド、アメリカ、フィンランド、スペイン、アイルランド、カナダ出身の交換留学生14名が協力。前期に6回、後期に8回開催し、のべ73名ほどの日本人等学生が参加してくれました。 瀬田キャンパスの日本人学生の参加者はとても熱心な学生が多く、英会話を楽しみむりピーターも多くいます。また、これをきっかけに海外留学にチャレンジする学生や、留学後に英語力を維持したいという学生も参加しています。 会話を通じ、留学生と日本人学生が、各々の国の状況や文化の違いや考え方の違いなどを語り合うことで、異文化に対する理解を深める機会ともなっています。 English Eveningは今後も継続していく予定です。
2019年1月12日	滋賀文教短期大学	留学生スキー、スノーボード体験	奥伊吹スキー場	留学生(タイ王国)、日本人学生(有志)	本学はタイ王国より長年にわたって留学生を受け入れてきた。タイ王国の風土等の関係上、中々体験することの出来ない「雪」を体験してもらうため、留学生スキー、スノーボード体験を企画している。大学の立地上身近にスキー場まで行く事が出来るので、その特性も生かし、本学留学生支援室の担当者が引率をして、スキーやスノーボードという雪に関連したウィンタースポーツを通じ、有志で参加した本学学生と交流を図り、普段の大学生活や授業等での交流とは違った形での交流を図ることが出来、留学生、本学学生共に、非常に有意義な交流活動となっている。
2018年10月6日	滋賀県立大学	三重県 伊勢神宮	本学外国人留学生一般学生	本学外国人留学生一般学生	日本の歴史、神道の由来を学ぶとともに、地元の蒲鉾づくり体験と塗り箸づくり体験を通じて、日本のものづくりの理解を深める。 また、留学生と一般学生がともに学び、ともにものづくりを体験することで、互いの異文化理解を深める。

交流事業の紹介

2018年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 2/3

日時	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
2018年7月4日	滋賀大学	学長と留学生との交歓会	滋賀大学教育学部 大会館	学長、留学生、教職員、大津市、彦根市 関係者	この交歓会は、外国人留学生と学長、教職員、チューター等日本人学生及び地域や国際交流団体の方々との親睦を深めることを目的に、毎年、大津キャンパスと彦根キャンパスで交互に開催しているものです。今年は大津キャンパスで開催し、大津市や彦根市の学外関係者等も含め約80名が参加しました。 交歓会は、位田学長の挨拶に続き、喜名理事(国際担当)による乾杯で開会し、留学生が披露する歌やダンス、楽器の演奏等パフォーマンスを楽しみながら、キャンパスの異なる留学生同士も交流を深め、また教職員との交流ができました。
2018年6月18日～29日	滋賀大学	ディーキン大学ビジネス スクール 日本研修受入れ	滋賀大学 経済学部 (彦根キャンパス)	ディーキン大学学生	上記日程でオーストラリアにある本学の協定大学、ディーキン大学ビジネス学部の学生を対象とした短期研修を実施しました。今回、ディーキン大学からは20名の学生が参加し、彦根キャンパスを拠点に、湖東地区の事業所・企業の外国人観光客の受け入れ、地場産業(彦根仏壇、日本酒)の海外展開等に関わる課題解決に向けて提案を行うプロジェクトに取り組みました。研修期間中は、本学学生も、聞き取り調査の通訳や報告会用プレゼンテーション資料の翻訳で協力し、交流会、一日文化体験ツアーの付き添いなどでディーキン大学の学生と交流する機会を持ちました。
2018年11月2日～14日	滋賀大学	チェンマイ・ラジャバット 大学学生 国際理解ス タディー・ツアー受入れ	滋賀大学 教育学部 (大津キャンパス)	チェンマイ・ラジャバット 大学学生	上記日程でタイにある本学の協定大学、チェンマイ・ラジャバット大学の学生を対象とした短期研修を実施しました。今回、チェンマイ・ラジャバット大学からは7名、教職員1名が来日し、大津キャンパスを拠点に、日本語やびわ湖調査実習の授業をはじめ、茶道体験、工場見学、寺院訪問などを通して日本文化を体験・学習しました。研修期間中は、本学国際理解教育コースの学生達との手作り夕食会も催し、教育学部教職員・学生と交流を深めました。
2018年11月2日	滋賀大学	教育学部長と留学生と の懇談会	滋賀大学 教育学部大会館	学部長、留学生、日本人学生、教職員、 チェンマイ・ラジャバット大学学生・引率 教員(国際理解スタディー・ツアー)	教育学部力フェーパーにおいて、教育学部学部長と留学生との懇談会を開催しました。今回、教育学部の留学生だけではなく、スタディー・ツアーで訪れているタイのチェンマイ・ラジャバット大学の学生達も交えての懇談会となりました。 懇談会では、スタディー・ツアーの学生、引率の先生の紹介に始まり、その後、本学留学生の有志数名が歌を披露、続いてチェンマイ・ラジャバット大学の学生がタイの文化紹介として踊りが披露されました。
2018年8月10日	聖泉大学	彦根ばやし総踊り大会	彦根商店街	学生(留学生含む) 教職員	「彦根ばやし」に合わせて数千人の市民が参加し、商店街を踊り練り歩く。中にはいろいろなコスプレをして参加するグループもあり、また踊りもオリジナルの振付を披露するグループもある。 本学は男子が法被、女子は浴衣を着て参加。特に浴衣は事前に大学で展示会を行い、各自が気に入ったものを選び、希望者には当日、着付サービスもする。色とりどりの浴衣で踊る姿は、若さと華やかさである。
毎週木曜日	聖泉大学	日本語研究会	聖泉大学講義室	留学生	本学教員、非常勤講師、地域ボランティアの方を講師に、基礎語学力の向上、N1合格を目標に勉強会を開催。また日本文化についても学ぶ。今年度は視聴覚障がい者が彫刻を触って楽しむアートイベントに参加、また「深緑の山科越え」「紅葉狩り」などの1日観光を実施した。
2018年11月23～24日	聖泉大学	滋賀国際映画祭	大学サテライトプラ ザ、彦根バシ シネマ、東近江市古 民家	学生、一般	11月23日：彦根バシシネマにて地域映画上映、映画製作ワークショップ、映画シンポジウムを開催。また夕方からは東近江市の古民家にて映画大好き交流会を開催した。 11月24日：彦根バシシネマにて、映画祭コンペティション入賞作品発表を行った。
2018年10月～2018年2月 計11回開講	聖泉大学	中国語講座	聖泉大学講義室	一般、留学生	本学教授を講師として、一般市民向けの中国語講座を開講。「初心者のための中国語基礎講座」と「中級者のための中国語強化講座」を実施。なお平成30年10月に来日した本学の留学生18名がConversation Partnersとして講座に参加し、市民の方々と交流を深め参加者の学びに貢献するとともに、留学生自身の日本語能力の向上にもつながっている。
2018年5月26日	独立行政法人日本学 生支援機構 近畿支部	第8回兵庫国際交流会 館交流研究発表会	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、大学や研究機関等で研究している内容を紹介することにより、入居者間のみならず、参加者同士の知的ネットワークの形成と研究交流を促進することを目的に実施。 第8回テーマ：「What is MY STUDY?」
2018年6月16日	独立行政法人日本学 生支援機構 近畿支部	国費外国人留学生歓迎 会2018 in 兵庫	兵庫国際交流会館	国費外国人留学生、大学等関係者	渡日間もない国費外国人留学生を主な対象として、文部科学省と機構の共催事業として行い、留学生生活に必要な情報収集や、日本文化体験、留学生同士及び日本人留学生等とのネットワーク形成の機会を提供することを目的に実施。
2018年10月27日	独立行政法人日本学 生支援機構 近畿支部	第5回兵庫国際交流会 館国際塾	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	兵庫国際交流会館に入居する各国・地域からの外国人留学生や近隣の方々、大学関係者等を対象に、日本の様々な分野で活躍する有識者や専門家等を講師として招き、その貴重な知識や意見を聞くとともに、併せて、意見を交換する機会を設けることにより、留学先である我が国の様々な面への理解をより深める機会を提供することを目的に実施。 第5回テーマ：「能楽体験教室」
2018年11月23日	独立行政法人日本学 生支援機構 近畿支部	第9回兵庫国際交流会館交流	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、大学や研究機関等で研究している内容を紹介することにより、入居者間のみならず、参加者同士の知的ネットワークの形成と研究交流を促進することを目的に実施。 第9回テーマ：「What is MY STUDY?」
2018年12月9日	独立行政法人日本学 生支援機構 近畿支部	2018年兵庫国際交流会 館国際交流フェスティ バル	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	外国人留学生の宿舎かつ「国際交流の拠点」として外国人留学生や地域住民を対象としたさまざまな国際交流事業を実施する兵庫国際交流会館の入居者が、会館での生活で芽生えたつながりを育て、入居者が今後も絆を深めていくことを目的に実施。入居するレジデント・アシスタントによる企画を含め、様々な交流の場を提供することにより入居者・地域の方々との間の交流を深め、会館での生活が実りあるものになるような催事とすることを旨とした。
2018年1月19日	独立行政法人日本学 生支援機構 近畿支部	第10回兵庫国際交流会 館交流研究発表会	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	国際理解ワークショップとして、「食/Food」をテーマに兵庫国際交流会館に居住する留学生が口頭発表を行うことにより、それぞれの国についての理解を深め、また、参加者間の交流を促進する機会を提供することを目的に実施。 第10回テーマ：「食/Food」
2018年1月26日	独立行政法人日本学 生支援機構 近畿支部	第6回兵庫国際交流会 館国際塾	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	兵庫国際交流会館に入居する各国・地域からの外国人留学生や近隣の方々、大学関係者等を対象に、日本の様々な分野で活躍する有識者や専門家等を講師として招き、その貴重な知識や意見を聞くとともに、併せて、意見を交換する機会を設けることにより、留学先である我が国の様々な面への理解をより深める機会を提供することを目的に実施。 第6回テーマ：「和算への招待 Invitation to WASAN」

交流事業の紹介

2018年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 3/3

日時	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
	独立行政法人日本学生支援機構 近畿支部	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(G-Navi)	兵庫国際交流会館等		兵庫国際交流拠点事業推進協議会(大学コンソーシアムひょうご神戸・神戸大学からなる事業体)への委託事業。日本語教室、防災ワークショップ、各種交流イベント等、兵庫国際交流会館を「国際交流の拠点」として活用する各種事業を実施。 主な事業: ○各種日本語教室(いずれも複数回実施) ・G-Navi 生活のための日本語教室 ・G-Navi 留学生のための日本語アカデミックライティングラボ ・G-Navi 就活のための日本語講座 ○防災シンポジウム/多文化共生から始まる防災・減災と復興「災害とリーダーシップ」 開催日時:平成30年12月2日(日)13時00分～17時00分 対象者・参加者:一般 ○留学生・日本人学生交流プログラム:兵庫県立大学GLFP協働 ○着物を着てみましょう/白鶴酒造資料館への訪問/第2回多文化多言語ワークショップ「多様性あることばと文化・ブラジルと中国の言語」 ○ランゲージサロン(英語・中国語) ※その他の事業は以下URLをご覧ください。 http://www.consortium-hyogo.com/g-navi/
2018年1月29日	立命館大学	滋賀県留学生交流推進会議 和食調理体験～恵方巻づくり体験	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス	立命館大学・滋賀大学・滋賀県立大学計33名留学生	2019年1月29日、びわこ・くさつキャンパスにて、留学生を対象とした日本の食文化～節分に食べる「恵方巻」の由来・食べ方の習慣にかかるお話と古くから伝わる食習慣や食にまつわる文化に触れる交流イベント開催されました。本イベントは、滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合をはじめとする団体の協力のもと実施され、本学を含む滋賀県内3大学から15ヶ国の留学生33名が参加しました。参加した留学生は、プロの料理人の調理に驚きながらも、自らも恵方巻づくり挑戦しました。
2018年9月1日	立命館大学	国際祭BalloonWorld	BKCインターナショナルハウス	留学生、日本人学生 地域住民	2018年9月1日(土)、BKCインターナショナルハウスにて、国際交流イベント「バルーンワールド(Balloon World)」が開催されました。この企画は、BKCインターナショナルハウスに住むレジデント・メンター(以下、RM)が外国人留学生と地域の方との交流を目的に実施したものです。地域のお子さんからお年寄りまで気軽に楽しめるよう、また外国人留学生と交流しやすいよう、風船を使ったレクリエーションを行いました。レクリエーションを楽しみながらも、様々な国籍の留学生と交流することができた地域住民の方からは「今後もこのようなイベントを実施していきたい」と次回の実施を期待する感想を頂戴することができました。
2018年6月30日～7月1日	立命館大学	「SHIGAバス～インバウンド・ツアー」	信楽・長浜市・近江八幡市周辺	本学留学生6名・他大学留学生・海外出身のタレント	外国人に滋賀の魅力体験してもらうために、世界各国から訪れた留学生と海外出身のタレントと共に滋賀県のバスツアーを行う。滋賀の特産品の「近江牛」、「鮎すし」と郷土料理「鯖そうめん」を味わった。信楽町で伝統の技「信楽焼」について、説明を聞いたり、ろくろを使って信楽焼の茶碗などを作った。留学生が「滋賀はあまり旅行をする場所がないと思っていたが、とても魅力あふれる場所だと感じる事ができた」と話した。
2018年4月7日	ミシガン州立大学連合日本センター	長松禅寺坐禅会	彦根市 長松禅寺	JCMU学生、一般市民	長松禅寺での座禅体験、作務、茶話会
2018年4月8日	ミシガン州立大学連合日本センター	高宮神社太鼓祭り	彦根市 高宮神社	JCMU学生、一般市民	彦根市高太鼓祭りに参加。御神典担ぎ、和太鼓演奏
2018年5月9日	ミシガン州立大学連合日本センター	Wednesday Nights シリーズ「ミステリーナイト」	ミシガン州立大学連合日本センター	JCMU学生と一般市民(大学生も含む)	謎解きゲームを実施。
2018年5月14日、15日、17日	ミシガン州立大学連合日本センター	滋賀県立大学授業参加、学生との交流	彦根市 滋賀県立大学	JCMU学生、滋賀県立大学学生、職員	滋賀県立大学看護学科の授業を日本人の学生とともに受講。その後、交流会開催。
2018年5月16日	ミシガン州立大学連合日本センター	東レカーボンマジック社員との交流	米原市、東レカーボンマジック	JCMU学生、東レカーボンマジック社員	東レカーボンマジック社員との交流
2018年5月17日	ミシガン州立大学連合日本センター	聖泉大学訪問	彦根市、聖泉大学	JCMU学生、聖泉大学学生、職員	聖泉大学生との交流
2018年5月21日	ミシガン州立大学連合日本センター	虎姫高校交流会	長浜市 虎姫高校	JCMU学生、虎姫高校生	虎姫高校生との交流
2018年5月22日	ミシガン州立大学連合日本センター	彦根東高校訪問	彦根市 彦根東高校	JCMU学生、彦根東高校学生、職員	彦根東高校学生と交流
2018年5月23日	ミシガン州立大学連合日本センター	城北幼稚園訪問	彦根市 城北幼稚園	JCMU学生、城北幼稚園園児、職員	英語の歌、お話、ゲーム等で園児と交流
2018年5月28日	ミシガン州立大学連合日本センター	甲南大学訪問	神戸市 甲南大学	JCMU学生、甲南大学学生、職員	甲南大学生との交流
2018年5月28日	ミシガン州立大学連合日本センター	滋賀医科大学病院訪問、医大生との交流	大津市 滋賀医科大学、医科大学病院	JCMU学生、滋賀医科大生、看護課の方々	滋賀医科大学病院訪問、滋賀医科大生との交流
2018年5月29日	ミシガン州立大学連合日本センター	京都女子大学訪問	京都市 京都女子大学	JCMU学生、京都女子大学学生、職員	京都女子大学の学生との交流
2018年5月30日	ミシガン州立大学連合日本センター	Wednesday Nights シリーズ「英語でアート」	ミシガン州立大学連合日本センター	JCMU学生と一般市民(大学生も含む)	色々な材料を使って、テーマに沿った簡単な作品作りを実施
2018年6月6日	ミシガン州立大学連合日本センター	ふるさと園訪問	彦根市 ふるさと園	JCMU学生、ふるさと園施設の方々	施設見学、ふるさと園の施設職員、居住者の方々と交流
2018年6月16日	ミシガン州立大学連合日本センター	水口東高校交流会	ミシガン州立大学連合日本センター	JCMU学生、水口東高校学生、職員	水口東高校学生との交流
2018年6月16日	ミシガン州立大学連合日本センター	ごはんやくま交流会	彦根市、ごはんやくま(料理店)	JCMU学生、一般市民	市民との交流

留学生データ

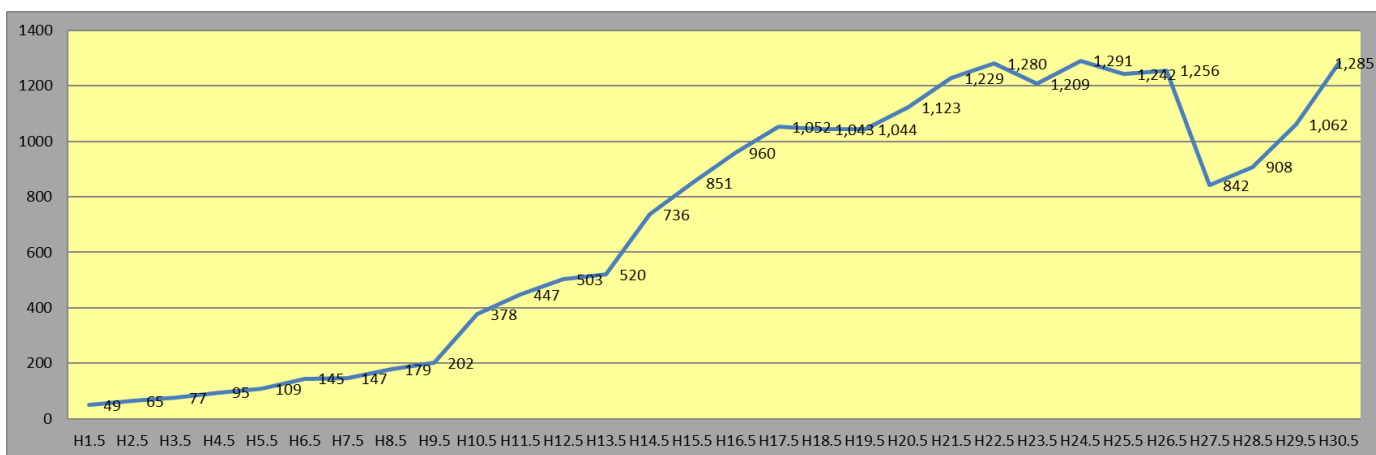
県内大学、短期大学の留学生受入状況（平成30年5月1日）

(1) 滋賀県留学生数の推移

留学生の推移

（単位：人）

H1.5	H2.5	H3.5	H4.5	H5.5	H6.5	H7.5	H8.5	H9.5	H10.5	H11.5	H12.5
49	65	77	95	109	145	147	179	202	378	447	503
H13.5	H14.5	H15.5	H16.5	H17.5	H18.5	H19.5	H20.5	H21.5	H22.5	H23.5	H24.5
520	736	851	960	1,052	1,043	1,044	1,123	1,229	1,280	1,209	1,291
H25.5	H26.5	H27.5	H28.5	H29.5	H30.5						
1,242	1,256	842	908	1,062	1,285						



(2) 滋賀県外国人留学生数【在籍身分別】（平成30年5月1日現在）

大学	学部・短大				大学院				合計	※参考 前年度 実績数
	国費	私費	非正規 課程	小計	国費	私費	非正規 課程	小計		
滋賀医科大学	0	0	0	0	9	25	1	35	35	28
滋賀県立大学	0	13	29	42	1	25	7	33	75	77
成安造形大学	1	44	3	48	0	0	0	0	48	22
聖泉大学	0	61	1	62	0	0	0	0	62	60
長浜バイオ大学	0	16	0	16	0	4	0	4	20	21
びわこ成蹊スポーツ大学	0	3	3	6	0	1	0	1	7	6
立命館大学	0	505	25	530	61	228	11	300	830	641
龍谷大学	0	17	5	22	0	16	10	26	48	45
びわこ学院大学・ びわこ学院大学短大部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀文教短期大学	0	4	0	4	0	0	0	0	4	4
滋賀短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀大学	63	3	28	94	4	53	5	62	156	156
合 計	64	666	94	824	75	352	34	461	1,285	1062

留学生データ

(3) 滋賀県内大学における国別外国人留学生数【出身国（地域）別】（平成30年5月1日現在）

国名	学部・短大				大学院				合計	※参考 前年度 実績数
	国費	私費	非正規 課程	小計	国費	私費	非正規 課程	小計		
中華人民共和国	29	507	30	566	19	208	15	242	808	667
大韓民国	2	76	10	88	0	7	0	7	95	72
アメリカ合衆国	0	2	11	13	0	2	0	2	15	13
(台湾)	11	13	12	36	0	6	3	9	45	33
アラブ首長国連邦	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
アンゴラ共和国	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0
アフガニスタン・イスラム国	0	0	0	0	0	8	0	8	8	12
イタリア共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4
インド	0	0	0	0	3	3	6	12	12	4
インドネシア共和国	0	21	0	21	7	18	0	25	46	35
ウガンダ共和国	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
ウズベキスタン共和国	0	0	0	0	0	5	0	5	5	7
エジプト・アラブ共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
エストニア共和国	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
エチオピア連邦民主共和国	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1
オーストラリア連邦	0	0	5	5	0	0	0	0	5	2
オランダ王国	0	0	4	4	0	0	0	0	4	4
カナダ	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
カメルーン共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
グレートブリテンおよび北部 アイルランド連合王国(英国)	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
キルギス共和国	0	0	0	0	1	7	0	8	8	7
ケニア共和国	0	0	0	0	0	5	0	5	5	5
コートジボワール共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
コロンビア共和国	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
サウジアラビア王国	0	0	0	0	0	2	0	2	2	3
ザンビア共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
スウェーデン王国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
スペイン	0	0	3	3	0	0	0	0	3	2
スリランカ民主社会主義共和国	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
セネガル共和国	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
ソマリア共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
タイ王国	2	8	5	15	12	11	2	25	40	28
タンザニア連合共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
チリ共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
ドイツ連邦共和国	0	0	5	5	0	0	0	0	5	8
トルコ共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
ナイジェリア連邦共和国	0	0	0	0	0	3	0	3	3	2
ナミビア共和国	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
ネパール連邦民主共和国	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
バーレーン王国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
パキスタン・イスラム共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ハンガリー共和国	0	0	0	0	1	1	0	2	2	2
バングラデシュ人民共和国	0	1	0	1	9	20	0	29	30	22
フィリピン共和国	0	0	0	0	1	2	0	3	3	1
フィンランド共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ブータン王国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ブラジル連邦共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
フランス共和国	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2
ベトナム社会主義共和国	11	7	0	18	9	14	0	23	41	43
ベナン共和国	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
ポルトガル共和国	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0
マレーシア	8	23	1	32	6	9	0	15	47	40
ミャンマー連邦共和国	0	0	0	0	0	4	0	4	4	10
メキシコ合衆国	0	0	1	1	2	0	0	2	3	5
モロッコ王国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2
モンゴル国	0	0	5	5	3	5	2	10	15	10
ラオス人民民主共和国	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
ロシア	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
南アフリカ共和国	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0
南スーダン共和国	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
合計	64	666	94	824	75	352	34	461	1,285	1,062

※ 上記数字は、在留資格「留学」を有する留学生のみの人数です。

※ 非正規課程とは、研究生・科目等履修生等を示します。

編集発行	滋賀県留学生交流推進会議 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学 グローバル教育推進センター TEL. 075-645-7898 FAX. 075-645-2020
発行月	2019 年 3 月